

World Vision

この子を救う。未来を救う。

ケニアに
す住む
チャリちゃん

特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン

アフリカのケニアに住むチャリちゃん。
5才の女の子です。





お母さんのモニカさんは、朝早く起きて、
子どもたちの朝ごはんを作ります。



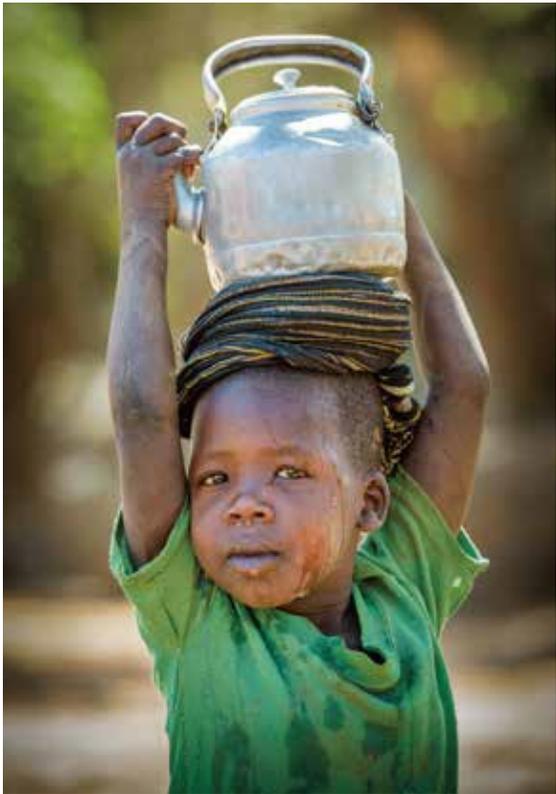
チャリちゃんの朝ごはんは、
やぎのミルクで作ったミルクティーとウガリです。
ウガリは、トウモロコシを粉にして、水で練った食べ物です。
お兄ちゃんのウィリアムくん、サイモンくん、
お姉ちゃんのダイアナちゃんと分け合って食べます。
1日に1回しか、ごはんを食べられません。



「今日も、水をくみに行ってきて」
お母さんはチャリちゃんに言いました。
朝ごはんを食べたら、
水をくみに行く時間です。



チャリちゃんの家には、水道がありません。
チャリちゃんは、やかんを持って、
1日に2回、近所に住む子どもたちといっしょに
水をくみにでかけます。



6kmのけわしい道を
3時間半かけて歩きます。
チャリちゃんはお兄ちゃんや
お姉ちゃんについて行けません。



大人でも登るのが
大変な坂道もあります。
チャリちゃんは、
足をすべらせてしまいました。



「みんな、待ってよ～」
お兄ちゃんやお姉ちゃんに
追いつこうと
チャリちゃんは走ります。



「えーん」
ついにチャリちゃんは、
泣き出してしまいました。



お姉ちゃんと木の
かげで少し休んで、
また歩き始めました。



やっと水を見つけました。
かわいてしまった川に
少しだけ水が残っていたのです。
チャリちゃんは、
いっしょうけんめいほりました。



そして、やかんのふたで
少しずつ水をすくいました。



チャリちゃんが水をくんでいると、ラクダがやってきました。
川の水がかわいてしまい、ラクダも、のどがかわいているのです。
少ししか残っていない水を求めて、
ラクダのほかにも牛ややぎなど野生動物が集まってきます。
みつばちのむれが、やってきたこともありました。

やかんには、
たくさんの水が入っています。
重いやかんを持って、
帰り道はもっと大変です。



子どもたちは、自分が持てるだけ
たくさんの水を運びます。
太陽は、じりじりと、みんなに照り付けます。
これがチャリちゃんの毎日です。

それから1年がたちました。

チャリちゃんは、どうしているでしょうか。



ある日、村にワールド・ビジョンがやってきました。

ワールド・ビジョンのアブラハムさんは、

村の人びとが、どんなことでこまっているか聞きました。

そして、いろいろな調査をして、

「水をためるタンクを作ろう!」と言いました。

でも、この近くに川はありません。

「どうやって作るの?」みんなふしぎに思いました。

アブラハムさんは専門家と
いっしょにチームを作って、
山を何時間も登っていきました。
そして、ついに、わき水を見つけました！
とてもきれいで、冷たい水です。



チームのみんなで力を合わせて、
木や枝がいっぱいの山道を整備して、
パイプを取り付けます。
パイプで水をチャリちゃんたちの
村のタンクまで届けるのです。



パイプとタンクがついに完成しました！

みんな大よろこびです！

アブラハムさんは、きれいな水の大切さを
みんなにお話ししました。

村の人びとは、その内容を歌にして、たくさんの人に伝えました。

チャリちゃんは、どこにいるか、分かるかな？



「もう水をくみに3時間半も歩かなくていいんだ！
きれいな水、うれしいな！」



水くみをしなくてもよくなったので、
チャリちゃんは
友だちと遊べるようになりました。



そして、もうひとつうれしいことがありました。
チャリちゃんは学校に行けるようになったのです。



学校では、きちんと手を洗って、
病気をふせぐことも学びました。
きれいなトイレもできて、安心です。



「では、この問題が分かる人は？」

「はい!はい!」

チャリちゃんは勉強をがんばっています。



「大きくなったら、お医者さんになりたい。

こまっている人を助けたいの」

チャリちゃんは夢に向かって歩きだしています。

World Vision



この子を救う。未来を救う。